

## 英語を話す際の考え方

日本語においては言葉があいまいに言われる傾向が強いですが、それを直訳すると英語では通じない場合が多いです。極端な例を挙げると、「パソコンを毎日オフィスで使います」を安易に「PC uses at the office everyday」と直訳する人がいます。これは通じないです(汗)。英語は、「誰が (S) どうする (V) 、、、、」といった具合に、**具体的な主語と動詞から始まる部分 (S+V、、、)** を用意する必要があります。「パソコンを毎日オフィスで使います」は、「私はパソコンを毎日オフィスで使います」になります。このように具体的な主語(私)と動詞(使います)が分かれば、「I use PC at the office everyday.」と言えます。会話において英語を話す際は、さらに複雑な内容であっても**こういった主語と動詞から始る文章を即座に (!) 言う能力が必要です**。聞き手を待たせすぎではいけません。

そこで、あいまいな日本語を、具体的な英語に変換する練習をやってみましょう。ゴルフのスイングと同じで、最初はゆっくりでも、何度も正しくやれば自然なスピードでななくできるようになります。この練習はゴルフでいえば打ちっぱなしだと思ってください。(ただし、分からない言葉は自分の知っている言葉で言い換えましょう。少くとも意味が変わっても何も言えないよりはましです。難しいときは、まず具体的な日本語に言い換えたり、2つの文章で表現してもいいです。慣れたら直接英語で考えるようにシフトさせていきましょう)

- ・ 彼は車を2台もっている。
- ・ 毎朝コーヒー飲んでます。
- ・ よく公園でジョギングします。
- ・ ジョンさんと話がしたいです。
- ・ まいったなー、お金使い過ぎちゃったよ。
- ・ 用事があるので失礼します。
- ・ 明日午後3時に予算会議です。
- ・ 問題は会社のシステムにある。
- ・ その映画はジーンときたよ。
- ・ 今年はパーティに同級生のケンジ君を招待したよ。
- ・ アメリカはでかい国だ。文化も人種もゴッタ煮だよ。
- ・ 今度は本気です。
- ・ まいったなー、お金使い過ぎちゃったよ。
- ・ ずいぶん難しい顔してますね。
- ・ 知らん顔していればいいんだよ。
- ・ いちいち取り合っているとキリがないよ。